

フォーラム実行委員会報告

学園祭協賛行事のひとつとして、学園祭期間中の昨年11月2日（火）に図書館の第2閲覧室において「フォーラム 学生と図書館 和の心とは：日本の伝統スポーツにおける着物」というテーマで図書館フォーラムを開催しました。

今回は、まず最初に本学点検評価調査室の村岡孝之氏の基調講演があり、その後に留学生別科を含む4組8名の学生達の発表の他に杖道と居合道の実演がありました。会場には学生、教職員、一般の方々53名が集まりました。



一昨年は、「はんなり着物文化を世界に発信」というタイトルで着物の着付から茶道、華道などにおいての着物について着目しましたが、今年は、日本の伝統スポーツにおいて着用する着物から変化した稽古着について着目することにしました。

最初の基調講演「和の心とは」では、日本文化について考えるとき「結ぶ」という事が重要であり、たとえば紐やりボンを結ぶ時の「蝶々結び」、冠婚葬祭の「水引」の結び方にどういう意味があるかなどについての話がありました。「普段私達の生活で何気なくやっている事には、きちんとした意味があるので、それを疑問に思ったら調べるとい事が大切です。皆さんが海外に留学などで行かれたら日本の事を必ず聞かれます。日本の伝統文化に少しでも触れているとそのと

きに話ができるので、茶道でも華道でもなんでもいいので日本文化に触れてください。」と最後にお話しされた事が大変印象に残りました。

この基調講演の後に柔道部、合気道部、弓道部、剣道部の学生さんが、簡単な実技をしながら競技をするときに身に付けている稽古着やそれぞれの競技の特徴について発表しました。



最後に剣道部の留学生による杖道と、豊剣会の方による居合道の実演がありました。

杖道や居合道も普段なかなか見ることができない大変貴重なものなので、皆さん大変熱心にご覧になっておられました。今回は、基調講演、発表そして武道の実演と非常に盛りだくさんな内容でした。



今後もフォーラムに来られる方に満足していただける催しとなるように企画、検討をさせていただきますので今後ともよろしく願いいたします。

委員長 栄 咲子